全国中等学校優勝野球大会
再現プロジェクト 2015 in 甲子園
結果報告

2015年12月19日（土）・20日（日）

1915年に高校野球全国大会が始まってから昨年で100周年。第1回大会の第1球を投げたのは鳥取中の鹿田一郎投手でした。その第1回大会に出場した10校のOBが集まり、甲子園球場で試合を行いました。鳥取中（鳥取西高）からの参加者（ベンチ入り選手・審判）は64人。最年少19歳から最年長81歳まで、現役と同じユニフォームを着用し、高校球児のあこがれである甲子園の地で広島中と対戦しました。

結果は、第1回大会の再現！とはなりませんでしたが、選手全員が守備または打席に立つことができ、高校時代に戻った気分で試合を楽しみました。

現役生もクラブで手配したバスで試合観戦＆応援。次は選手として甲子園のグラウンドに立つと決意を新たにしていました。

【試合結果（第1回大会）】

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	R
広島中	2	0	0	0	1	0	0	0	4	7
鳥取中	3	1	0	0	0	2	1	7	×	14

【試合結果（今大会）】

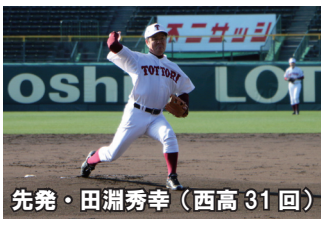
	1	2	3	4	5	6	7	R
広島中	3	2	1	0	1	1	0×	8
鳥取中	0	0	0	0	0	3		3

（7回時間切れ）

お礼

OBのみなさまから多大な寄付をいただき、今大会に参加することができました。参加選手一同よりお礼申し上げます。なお、大会参加費の決算を同封していますのでご覧ください。

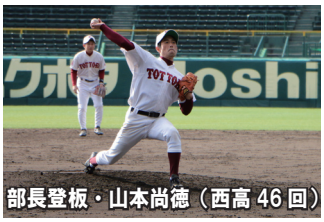
大会プレイバック



先発・田淵秀幸（西高31回）

センター前ヒット・小林弘尚（西高9回）

本塁打・鈴木真之介（西高47回）



部長登板・山本尚徳（西高46回）

現役選手・応援団OBによる応援

開会セレモニー入場行進

【第1回大会始球式】

【今大会始球式】

始球式では、当時を再現しました
（左から、小林弘尚（西高9回卒）、寺西正人（西高26回卒）、井戸垣洌（西高17回卒）、豊中市長）